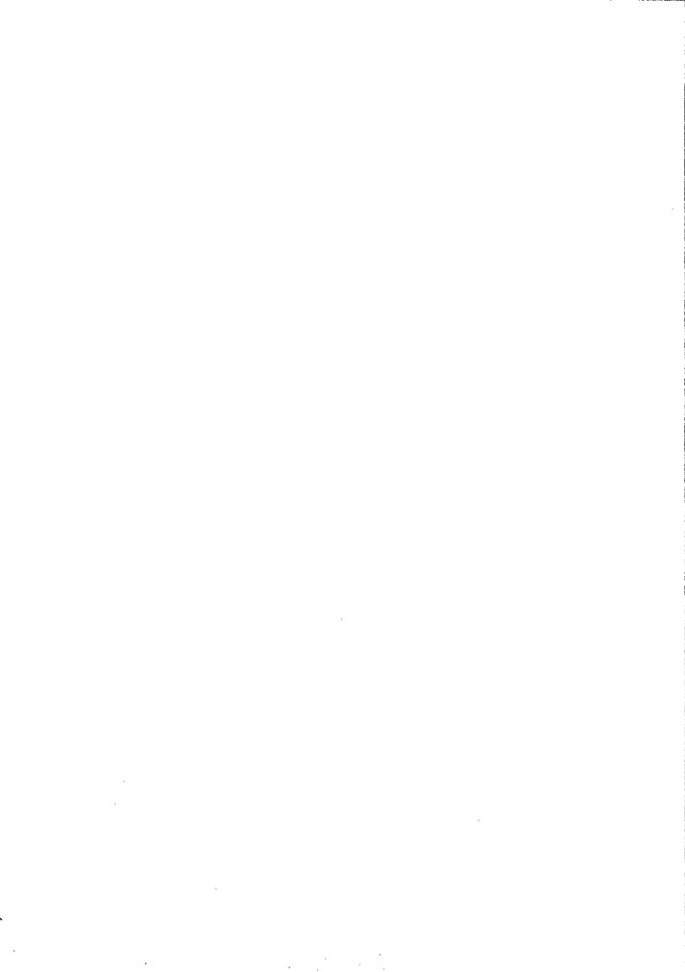


泉大津市文化財調査報告24

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報12

1994・3

泉大津市教育委員会



泉大津市文化財調査報告24

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報12

1994・3

泉大津市教育委員会

例 言

1. 本調査概報は、泉大津市教育委員会が、市内に所在する埋蔵文化財包蔵地内において、開発行為に先立って実施した発掘調査である。
2. 本調査は、泉大津市が国庫補助事業及び、大阪府補助事業（総額1,000,000円、国庫補助率50%、府補助率25%、市負担率25%）として、計画・実施したものである。
3. 本調査は下記の構成で実施した。

調査主体者	泉大津市教育委員会教育長	堀 四 郎
調査担当者	泉大津市教育委員会社会教育課	坂 口 昌 男
		〃 虎 間 麻 実
外業調査員		辻 川 陽 一
内業調査員		佐 野 み ゆ き
内業調査補助員		笠 井 美 鈴
事 務 局	泉大津市教育委員会社会教育課	
4. 本事業は、平成5年度事業として、平成5年4月1日に着手して、平成6年3月31日に完了した。
5. 本書の執筆・編集は虎間が行った。

目 次

第1章 埋蔵文化財調査の状況	1
第2章 発掘調査報告	7
1. 池上・曾根遺跡	7
2. 豊中遺跡	10
3. 穴師遺跡	18
4. 七ノ坪遺跡	23
5. 虫取遺跡	26
6. 池浦遺跡	28
7. 東雲遺跡	30
8. 大岡遺跡	32
報告書抄録	巻末
挿 図	
第1図 遺跡分布図	6
第2図 池上・曾根遺跡調査地点図	7
第3図 池上・曾根遺跡 第1地点 掘削位置図	8
第4図 池上・曾根遺跡 第1地点 東壁断面図	8
第5図 池上・曾根遺跡 第1地点 出土遺物	8
第6図 池上・曾根遺跡 第2地点 掘削位置図	9
第7図 池上・曾根遺跡 第2地点 北壁断面図	9
第8図 池上・曾根遺跡 第2地点 出土遺物	9
第9図 豊中遺跡調査地点図	10
第10図 豊中遺跡 第1地点 掘削位置図	11
第11図 豊中遺跡 第1地点 東壁断面図	11
第12図 豊中遺跡 第2地点 掘削位置図	12
第13図 豊中遺跡 第2地点 北壁断面図	12
第14図 豊中遺跡 第3地点 掘削位置図	13
第15図 豊中遺跡 第3地点 北壁断面図	13
第16図 豊中遺跡 第4地点 掘削位置図	14

第17圖	豐中遺跡	第4地点	断面図	15
第18圖	豐中遺跡	第4地点	出土遺物	15
第19圖	豐中遺跡	第5地点	西壁断面図	16
第20圖	豐中遺跡	第5地点	掘削位置図	16
第21圖	豐中遺跡	第6地点	北壁断面図	17
第22圖	豐中遺跡	第6地点	掘削位置図	17
第23圖	穴師遺跡	調査地点図		18
第24圖	穴師遺跡	第1地点	掘削位置図	19
第25圖	穴師遺跡	第1地点	東壁断面図	19
第26圖	穴師遺跡	第2地点	掘削位置図	20
第27圖	穴師遺跡	第2地点	北壁断面図	20
第28圖	穴師遺跡	第3地点	北壁断面図	22
第29圖	穴師遺跡	第3地点	掘削位置図	22
第30圖	七ノ坪遺跡	調査地点図		23
第31圖	七ノ坪遺跡	第1地点	北壁断面図	23
第32圖	七ノ坪遺跡	第1地点	掘削位置図	24
第33圖	七ノ坪遺跡	第2地点	掘削位置図	25
第34圖	七ノ坪遺跡	第2地点	東壁断面図	25
第35圖	虫取遺跡	調査地点図		26
第36圖	虫取遺跡	調査地点	掘削位置図	27
第37圖	虫取遺跡	調査地点	北壁断面図	27
第38圖	池浦遺跡	調査地点図		28
第39圖	池浦遺跡	調査地点	掘削位置図	29
第40圖	池浦遺跡	調査地点	南壁断面図	29
第41圖	東雲遺跡	調査地点図		30
第42圖	東雲遺跡	調査地点	掘削位置図	31
第43圖	東雲遺跡	調査地点	断面図	31
第44圖	大岡遺跡	調査地点図		32
第45圖	大岡遺跡	調査地点	掘削位置図	33
第46圖	大岡遺跡	調査地点	南壁断面図	33

新 表

表1	遺跡別届出件数	1
表2	遺跡別調査件数	2
表3	平成5年度調査一覧表	2
表4	平成4年度調査一覧表(追加分)	5

図 版

1	池上・曾根遺跡第1地点調査堀	/	池上・曾根遺跡第2地点調査堀
2	豊中遺跡第1地点調査堀	/	豊中遺跡第2地点調査堀
3	豊中遺跡第3地点調査堀	/	豊中遺跡第4地点第1トレンチ
4	豊中遺跡第4地点第2トレンチ	/	豊中遺跡第5地点調査堀
5	豊中遺跡第6地点調査堀	/	穴師遺跡調査地点調査堀
6	穴師遺跡第2地点調査堀	/	穴師遺跡第3地点調査堀
7	七ノ坪遺跡第1地点調査堀	/	七ノ坪遺跡第2地点調査堀
8	虫取遺跡調査地点第1トレンチ	/	虫取遺跡調査地点第2トレンチ
9	池浦遺跡調査地点調査堀	/	東雲遺跡調査地点第1トレンチ
10	東雲遺跡調査地点第2トレンチ	/	大園遺跡調査地点調査堀

第1章 埋蔵文化財調査の状況

平成5年度における埋蔵文化財発掘届出の件数及び調査件数は、表1、2のとおりである。届出件数は平成6年1月31日現在で157件と、昨年の192件を大幅に下回っている。これは、景気の低迷による工事の減少がその要因としてあげられよう。しかし、個人住宅関連工事が79%、工場・倉庫2%、店舗・事務所4%、共同住宅11%と工事種別の比率は前年とはほぼ同様である。

遺跡別の調査件数が最も多いのは、豊中遺跡の6件で（前年度分含む）、次いで七ノ坪遺跡、穴師遺跡の3件である。これらは、そのほとんどが共同住宅及び店舗の建設に先立つ調査である。今年度の調査件数に占める個人住宅はわずか1件で、届出件数全体に占める割合とは相反し、調査に至るものはほとんどない。この傾向は今後も続くものと思われる。

表1 遺跡別届出件数

(平成5年4月1日～平成6年1月31日)

遺跡名	件数	内訳						
		個人住宅	ガス・水道	電話・電気	工場・倉庫	店舗・事務所	共同住宅	その他
池上・曾根遺跡	34	11	14	4	1	1	1	2
豊中遺跡	28	2	16	3		2	5	
虫取遺跡	29	6	17	2		1	2	1
大園遺跡	3	1				1	1	
板原遺跡	12	3	5		1		3	
池浦遺跡	16	4	5	2	1	1	1	2
穴師遺跡	10	1	7				2	
七ノ坪遺跡	8	1	3	1	1		1	1
東雲遺跡	12	2	8	1			1	
穴田遺跡	2		2					
菊田城跡	1	1						
穴師崇徳寺跡	1			1				
千原城跡	1	1						
計	157	33 (21%)	77 (49%)	14 (9%)	4 (2%)	6 (4%)	17 (11%)	6 (4%)

表2 遺跡別調査件数

(平成5年4月1日～平成6年1月31日)

遺跡名	件数	内訳	
		発掘調査	立会調査
池上・曾根遺跡	13	2	11
豊中遺跡	16	5	11
虫取遺跡	7	1	6
大園遺跡	2	1	1
板原遺跡	8		8
池浦遺跡	7	1	6
穴師遺跡	3	2	1
七ノ坪遺跡	3	3	
東雲遺跡	3	1	2
森遺跡	1		1
菊田城跡	1		1
計	64	16	48

表3 平成5年度調査一覧表

(平成5年4月1日～平成6年1月31日)

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考(調査番号)
4・3	池浦町2丁目13-7	虫取遺跡	立会調査	排水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・12	森町2丁目227-32	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
4・20	森町2丁目253-1の一部	池上曾根遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・21	北豊中町2丁目987-18	豊中遺跡	立会調査	給水管引き込み工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
4・26	豊中439-1	豊中遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・7	旭町 ^{1-1, 2-1, 3-1, 4-1}	東雲遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事による先立調査で、遺構・遺物等は認められず。(9304)
5・12	虫取26-13	虫取遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
5・13	曾根町1丁目4-8	池上曾根遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
5・13	森町1丁目10-2	池上曾根遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
5・24	森町1丁目113-1の一部	池上曾根遺跡	立会調査	診療所建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
5・25	穴田73-6, -7, -9	板原遺跡	立会調査	マンション建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。

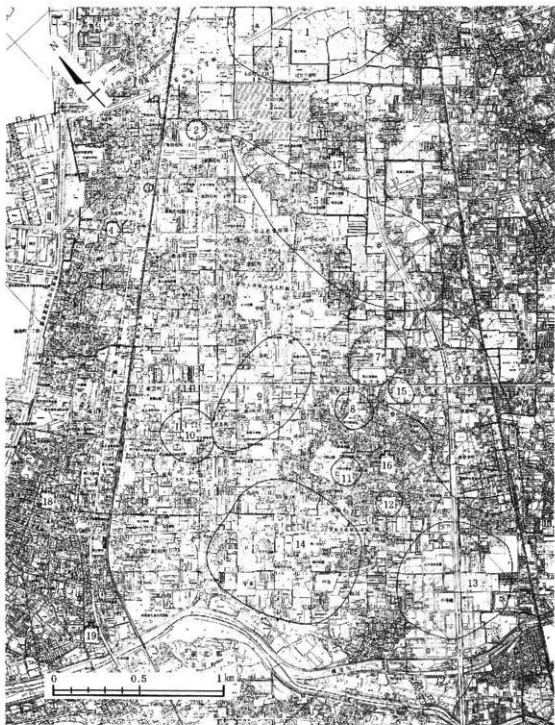
月日	調査地番	道跡名	調査内容	備考(調査番号)
5・26	森町2丁目227-141	池上曾根道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
6・12	板原1035、1036、1037	板原道跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
7・2	板原1035、1036、1037	板原道跡	立会調査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
7・2	板原1047-48	大園道跡	立会調査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
7・2	末広町1丁目332-37	板原道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
7・5	東豊中町2丁目962-14	豊中道跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、道構は認められず。土器器細片検出。(9305)
7・5	森町1丁目103-6、7	池上曾根道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・5	森町2丁目185-8の一部	池上曾根道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・7	東豊中町1丁目	豊中道跡	立会調査	ガス管埋設に伴う調査坑による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
7・12	宮139-1	池浦道跡	立会調査	消防署建物増築に伴う掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
7・14	北豊中町3丁目 ⁹⁷⁹⁻³ ₉₇₉₋₄	豊中道跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・20	下条町614-48	東雲道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・24	森町2丁目 ^{149-2、-3} _{150-2、-3}	池上曾根道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
7・30	豊中964-18	豊中道跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、道構・遺物は認められず。(9306)
8・5	鏡井37-1	大園道跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、道構・遺物は認められず。(9307)
8・26	池浦町1丁目17-1	虫取道跡	発掘調査	独自寮建設工事に先立つ調査で、道構・遺物は認められず。(9308)
8・23	下条町168-14の一部	池浦道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
8・27	池浦町4丁目183-5184	池浦道跡	立会調査	給排水管埋設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。
8・28	板原1134、1135	板原道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・3	字多99-4	虫取道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・8	我孫子214-4	虫取道跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
9・16	北豊中町2丁目 ⁴⁷⁶⁻³ ₄₇₆₋₄	七ノ坪道跡	発掘調査	倉庫建設工事に先立つ調査で、道構は認められず。瓦片検出。(9309)
9・21	助松町2丁目384-3	森道跡	立会調査	店舗及び倉庫建設工事による掘削で、観察の結果道構・遺物等は認められず。

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備考(調査番号)
9・20	東豊中町1丁目966-3	豊中遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
9・22	豊中953-9	豊中遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
9・24	北豊中町1丁目 ⁵⁹²⁻³ 589-3	七ノ坪遺跡	発掘調査	老人集会所建設工事による調査で、遺構・遺物等は認められず。(9310)
9・24	池浦町5丁目439-5	穴師遺跡	立会調査	個人住宅建設工事に伴う地盤改良の掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
9・29	豊中671-1の一部	穴師遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9311)
9・29	東豊中町1丁目996-3	豊中遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・12	北豊中町2丁目366-28	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・14	北豊中町1丁目494	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・19	池浦町4丁目214-1	池浦遺跡	発掘調査	工場建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物等は認められず。(9312)
10・19	下条町641-88	東雲遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・25	豊中766-1	苅田城跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
10・26	北豊中町 ^{536, 537,} 1丁目 ^{538, 539} 534-1, 535-1の部	七ノ坪遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器細片検出。(9313)
10・26	下条町246-1	池浦遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で基礎は盛土内におさまっていた。
11・2	池浦町5丁目440-1	穴師遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器片、須恵器片検出。(9314)
11・12	我孫子152-1	板原遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・12	森町2丁目118, 119	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
11・19	豊中671-1の一部	池浦遺跡	立会調査	給排水管理設工事による掘削で、遺構・遺物等は認められず。
12・9	板原335-4	虫取遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・11	池浦町1丁目21-1	池浦遺跡	立会調査	事務所付きモデルルーム建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
12・13	213-1 板原212-2 212-4の一部	板原遺跡	立会調査	老人ホーム建設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
12・16	曾根町1丁目98-1	池上曾根遺跡	発掘調査	温室付き店舗建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器片、須恵器片検出。(9315)
12・17	豊中町2丁目954-1	豊中遺跡	発掘調査	貸店舗建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器片、須恵器片検出。(9316)
12・17	宇多1048-146	虫取遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考 (調査番号)
12・21	我孫子113-2の一部	板原遺跡	立会調査	共同住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。
1・11	北豊中町2丁目988-4の一部	豊中遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器片、須恵器片、瓦器片検出。(9401)
1・13	曾根町1丁目142-4	池上曾根遺跡	発掘調査	個人住宅建設工事に先立つ調査で、遺構は認められず。土師器小皿、須恵器片、瓦片検出。(9402)
1・18	北豊中町2丁目 ⁴⁶⁰⁻¹ ₄₆₃₋₁	豊中遺跡	発掘調査	店舗建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。(9403)
1・20	豊中671-1	豊中遺跡	立会調査	ガス管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・24	東豊中町1丁目5-55	豊中遺跡	立会調査	ガス管入れ替え工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
1・31	森町1丁目 ^{265-6、} ₂₆₁₋₁	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎は盛土内におさまっていた。

表4 平成4年度調査一覧表(追加分)

月日	調査地番	遺跡名	調査内容	備 考 (調査番号)
2・1	森町2丁目68-5	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
2・12	豊中439-1	豊中遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
2・12	下桑町614-87	東雲遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
2・18	^{26 3} 神明町35-1、-5 _{36-1、41-1}	真鍋城跡	立会調査	共同住宅建設工事に伴う地盤改良で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
2・20	宇多64	虫取遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
2・25	^{虫取39-1} 池田481 1、3、6、7 ₄₈₂₋₁	虫取遺跡	発掘調査	都市計画道路拡幅工事に先立つ調査で、遺構は確認できなかった。須恵器検出。(9301)
2・26	宇多73の一部、74-1	虫取遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・2	豊中670-1、-2	穴師遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。(9302)
3・4	豊中658-7の一部	豊中遺跡	発掘調査	共同住宅建設工事に先立つ調査で、遺構・遺物は認められず。(9303)
3・9	我孫子291-1	虫取遺跡	立会調査	倉庫建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・26	我孫子151-6、-10	板原遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・27	森町1丁目52-6、-16	池上曾根遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。
3・29	森町2丁目68-5	池上曾根遺跡	立会調査	給水管埋設工事による掘削で、観察の結果遺構・遺物等は認められず。
3・31	下桑町158	東雲遺跡	立会調査	個人住宅建設工事による掘削で、基礎掘削は盛土内におさまっていた。



- 1.大園遺跡 2.森遺跡 3.牛滝塚 4.助松遺跡 5.池上曾根遺跡 6.豊中遺跡 7.七ノ坪遺跡
 8.穴師遺跡 9.池浦遺跡 10.東雲遺跡 11.穴師薬師寺跡 12.穴田遺跡 13.板原遺跡 14.虫取遺跡
 15.大福寺跡 16.菊田城跡 17.千原城跡 18.真鍋城跡 19.城の山

第1図 遺跡分布図

第2章 発掘調査報告

1. 池上・曾根遺跡



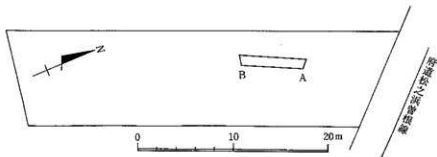
第2図 池上・曾根遺跡調査地点図(1:5,000)

第1地点(曾根町1丁目98-1 調査番号 9315)

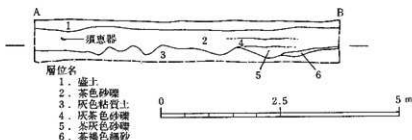
本調査地点は池上・曾根遺跡の西端に位置し、北側で、府道松之浜曾根線に接する。本線は平成2年に開通以来、周辺部の主要幹線道路として使用されている。そのため、一昨年より本線沿いに店舗などの建設が多くみられたが、工事に先立つ調査は、今年度は当遺跡で2件、本線沿いでは当調査地点のみである。

まず、敷地の中央よりやや北に、幅1.0m、長さ6.4m、深さ0.9mの規模の調査坑を設定し、重機による掘削を行う。続いて、人力で、壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施する。

調査坑の基本層序は、盛土以下は、茶色及び灰色の砂礫が主に堆積し、灰色粘質土に至る。上部より、盛土(1層)15~25cm、茶色砂礫(2層)平均50cm、灰色粘質土(3層)に至る。



第3図 池上・曾根遺跡 第1地点 掘削位置図

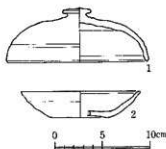


第4図 池上・曾根遺跡 第1地点 東壁断面図

調査地の南部分は、茶色砂礫が灰茶色砂礫(4層)に分層できるが、一部分のみではっきりしない。また、4層下層に茶灰色砂礫(5層)がみられるが、4層同様部分的なもので、2層及び4層との境目がはっきりしない。5層の下層で茶褐色細砂(6層)が約10cmみられる。2層・4層～6層の砂礫層からはわずかであるが、湧水がみられる。

2層は、土師器片・須恵器片を含む。遺物は、そのほとんどが調査地の北側部分でみられる。1は、須恵器坏蓋で、蓋径14.0cm、器高5.7cmを測る。2は、土師器皿で、口径12.4cm、底径5.4cm、器高2.7cmを測る。

遺構は検出されず、断面図の作成及び写真撮影を行い、調査を終了した。



第5図 池上・曾根遺跡 第1地点 出土遺物

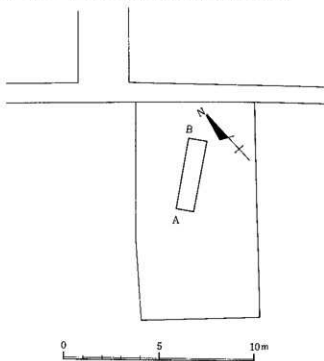
第 2 地点 (曾根町1丁目142-4)

当遺跡の西端に位置する。約70m東に曾根神社が、また、約150m北には第1調査地点が存する。木造一部鉄骨造3階建て住宅建設に先立つ調査である。

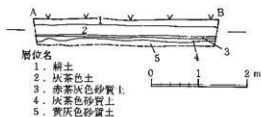
敷地の中央に、長さ3.9m、幅1.0m、深さ0.6mの規模で調査坑を設定し、重機による掘削を行った後、人力により、壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施した。調査坑の層序は、上層より、耕土(1層)15cm、灰茶色土(2層)20cm、赤茶灰色砂質土(3層)4cm、灰茶色砂質土(4層)8cm、黄灰色砂質土(5層)12cm以上となる。

4層から土師器
小皿を完型品で1
点検出した。口径
は6.8cmを測る。
同じく4層からは、
須恵器片及び瓦器
片を検出した。4
層は遺物包含層と
思われる。

遺構は検出され
ず、写真撮影・断
面図の作成を行っ
て、調査を終了し
た。



第6図 池上・曾根遺跡 第2地点 掘削位置図

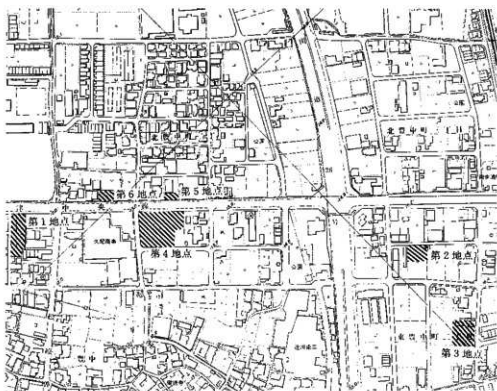


第7図 池上・曾根遺跡 第2地点 北壁断面図



第8図
池上・曾根遺跡
第2地点 出土遺物

2. 豊中遺跡



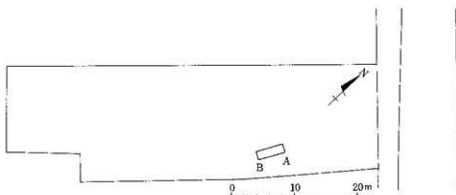
第9図 豊中遺跡調査地点図(1:5,000)

第1地点(豊中658-7の一部 調査番号 9303)

豊中遺跡の西端に位置し、北側で泉大津中央線をはさんで、府立泉大津高校と接する。共同住宅の建設に先立つものである。

敷地の南側に、幅1.3m、長さ4.8m、深さ0.9mの規模の調査坑を設定し、まず、重機により掘削し、その後、人力で壁面・床面を削り断面及び床面観察を中心に調査を実施した。

調査坑の基本層序は、盛土(1層)60cm、黒灰色土(旧耕土)(2層)20cm、灰色細砂(3層)、とほぼ水平に堆積し、北端では黄色粘質土(5層)、灰色粘質土(6層)、と続く。南端では、3層は認められず、旧耕土の2層直下に黄茶色シルト(7層)、と黄茶色粘質土(8層)が堆積する。遺構及び遺物は認められず、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第10図 豊中遺跡 第1地点 掘削位置図



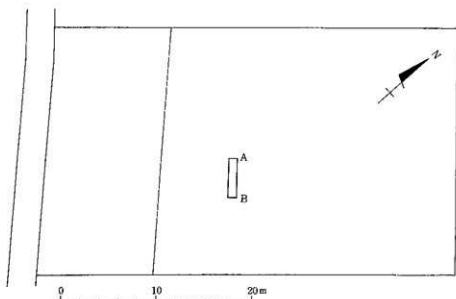
第11図 豊中遺跡 第1地点 東壁断面図

第 2 地 点 (東豊中町2丁目932-14 調査番号 9305)

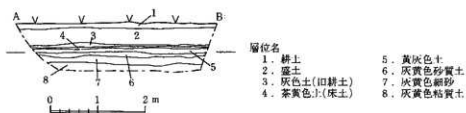
豊中遺跡のほぼ中央部に位置し、70m西では国道26号線に接する。周辺部は、当遺跡の中でも、比較的調査の進んでいる地域である。今回は、共同住宅建設工事に先立つ調査である。まず、敷地の中央に幅0.9m、長さ4.0m、深さ1.0mの規模の調査坑を設定し、重機による掘削を行う。続いて人力により壁面及び床面を削り、断面・床面観察を、中心に調査を実施した。

調査坑の基本層序は、灰黄色を基調とした砂質土、細砂、粘質土がほぼ水平の地積を示す。上層から、耕土(1層)10cm、盛土(2層)30cm、灰色土(旧耕土)(3層)7cm、茶黄色土(床土)(4層)7cm、黄灰色土(5層)10cm、灰黄色砂質土(6層)15cm、灰黄色細砂(7層)20cm、灰黄色粘質土(8層)に至る。4層の床土直下の黄灰色土から、土師器の細片がわずかに検出されたが、図示し得ない。8層の黄灰色粘質土からは湧水がみられる。

遺構は認められない。写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第12図 豊中遺跡 第2地点 掘削位置図

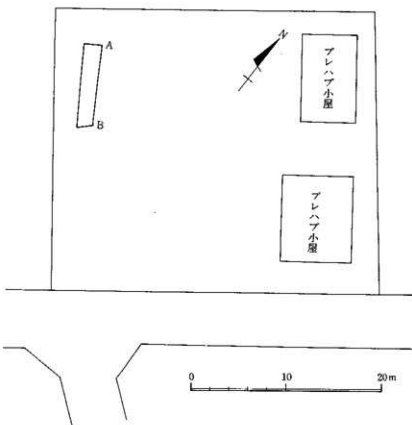


第13図 豊中遺跡 第2地点 北壁断面図

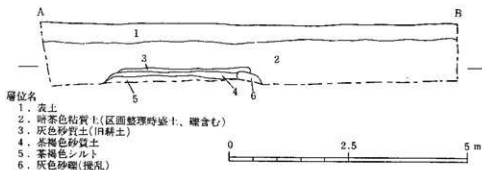
第3地点 (豊中964-18 調査番号 9306)

共同住宅建設に先立つ調査である。90m北には第2調査地点が存する。敷地の西隅に幅1.0m、長さ8.7m、深さ1.3mの規模の調査坑を設定し、重機による掘削の後、人力により壁面・床面の掘削を行う。調査坑の層序は上層から、表土(1層)・暗茶色粘質土(2層)が約1m続く以下、灰色砂質土(3層)(旧耕土)、茶褐色砂質土(4層)、茶褐色シルト(5層)に至る。4層及び5層は、一部分、攪乱を受けている(灰色砂礫)。2層は区画整理時

の盛土とみられ、よくしまっており、礫を含む。区画整理により以下の層は削平されているものと思われる。遺構及び遺物は認められない。写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第14図 豊中遺跡 第3地点 掘削位置図



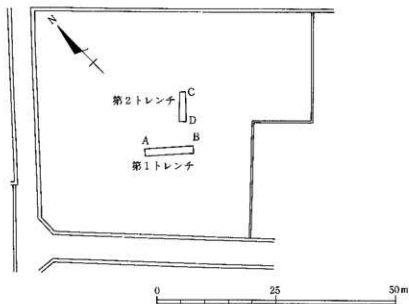
第15図 豊中遺跡 第3地点 北壁断面図

第 4 地 点 (豊中町 2 丁目954-1 調査番号 9316)

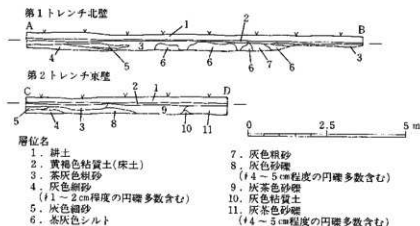
当遺跡の西端に位置し、北側で泉大津中央線に接する。当該地は畑地であったが、店舗建設が予定されたため、工事に先立ち調査を実施した。当該地付近は、比較的まとまった面積での発掘調査が進んでいるが、南側に接する市道建設時に井戸が確認されている。また、敷地の西側が、小字名「大福寺」に係っていること等から今回調査地点でも、何らかの遺構の存在が予想された。

まず敷地のほぼ中央部に幅1.5m、長さ10m、深さ0.5mの規模で東西方向に調査坑を設定し重機で掘削を行い、続いて人力により掘削を行った。調査区域の基本層序は、上層より、耕土(1層)15cm、黄褐色粘質土(床土)(2層)5～9cm、茶灰色粗砂(3層)、茶灰色シルト(6層)に至る。西側では、灰色細砂(5層)、円礫を多数含む灰色細砂(6層)がみられる。調査坑全体にわたり、床土直下は砂層の堆積がみられ、遺構及び遺物は確認できない。

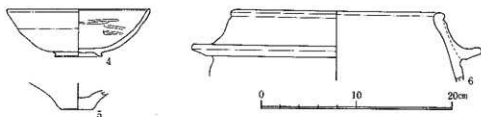
敷地がかなり広いので、遺構面となりそうな6層が当該調査坑に部分的にみられるものなのかを確認するため、調査坑の北側に、南北方向の調査坑を設定し、前者を第1トレンチ、後者を第2トレンチとする。第2トレンチは、幅1.5m、長さ6.0m、深さ0.6mの規模で設定し、重機での掘削の後、人力掘削を行う。



第16図 豊中遺跡 第4地点 掘削位置図



第17図 壘中遺跡 第4地点 断面図



第18図 壘中遺跡 第4地点 出土遺物

第2トレンチの基本層序は、1層~3層は、第1トレンチと同様にみられ、北端で、5層、4層及び灰色砂礫(8層)がみられる。中央から南側へは、2層の下から、灰茶色砂(9層)、灰茶色砂礫(11層)が堆積する。11層は9層とほぼ同じであるが、11層は直径4~5cmの円礫を多数含む。これらの層の間に、灰色粘質土(10層)が一部みられる。第1トレンチと同様に床土直下は、砂層または砂礫層が堆積し、6層は全く認められない。

遺物は3層からわずかに検出した。4は、瓦器碗で、口径7.5cm、底径4.4cm、器高5.0cmを測る。内面にヘラ磨きを施すが、磨減が激しい。4は、土師器底部であるが、器種は明らかでない。底径3.2cmを測る。内外面とも磨減が激しく、調整は不明である。5は、土師質羽釜である。口径21.0cm、鏝径30.4cmを測る。

両トレンチとも砂層及び砂礫層が堆積し、遺構は認められない。建物基礎部分は約0.5mで、砂層中に取まるため、写真撮影及び断面図を作成し、調査を終了した。

第 5 地点 (北豊中町 2 丁目 988-4 の一部 調査番号 9401)

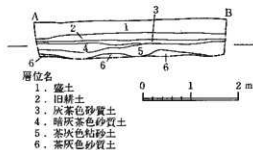
当遺跡の西端に位置し、泉大津中央線をはさみ、第 4 地点の北側に存する。3 階建て共同住宅建設に先立つ調査である。

まず、重機で、長さ 4 m、幅 0.9 m、深さ 0.75 m の規模の調査坑を設定し、その後、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施する。

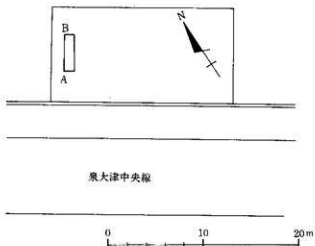
調査坑の層序は上層より、盛土(1層)25cm、旧耕土(2層)10cm、灰茶色砂質土(3層)8cm、で、その西側で暗灰茶色砂質土(4層)15cm、がみられ、東方向に行くに従って薄くなり、中程で見えなくなる。その下は、茶灰色粘砂土(5層)10~25cmとなり、茶灰色粘質土(6層)が15cm以上続く。茶灰色砂質土より、土師器片・須恵器片・瓦器片を検出し、い

ずれも小破片で図示し得ない。

遺構は検出されず、写真撮影及び断面図を作成して調査を終了した。



第19図 豊中遺跡 第5地点 西壁断面図



第20図 豊中遺跡 第5地点 掘削位置図

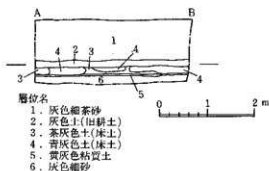
第 6 地点 (北豊中 2 丁目460-1 の一部, 463-1 調査番号 9403)

当遺跡の西端で、60m 東に第 5 地点が、また、100m 西には第 1 地点が位置する。店舗建設工事に先立つ調査である。

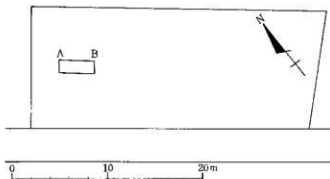
まず敷地の西側に、長さ 4.0m、幅 1.2m、深さ 1.3m の規模の調査坑を設定し、重機で掘削を行う。続いて、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施する。

調査坑の層序は、上層より、灰色細砂(1層)75cm、灰色土(2層)(旧耕土)12cm、とほぼ水平に堆積がみられる。続いて、茶褐色土(3層)(床土)15cm中に、青灰色土(4層)(床土)が部分的にみられる。以下、黄灰色粘質土(5層)が 5cm、と薄く堆積し、灰色細砂(6層)に至る。6層から湧水がみられ遺構及び遺物は認められない。

建物の基礎は、約 50cm と浅いため、断面図と写真撮影を行って、調査を終了した。

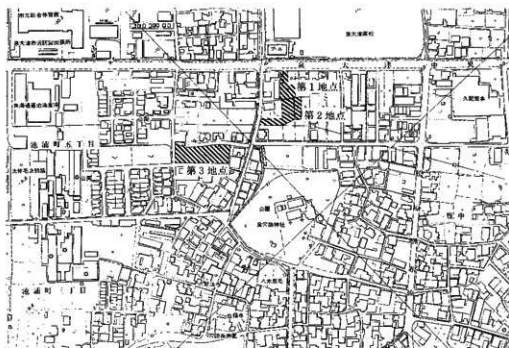


第21図 豊中遺跡 第6地点 北壁断面図



第22図 豊中遺跡 第6地点 掘削位置図

3. 穴師遺跡



第23図 穴師遺跡調査地点図 (1:5,000)

第 1 地 点 (豊中670-1, 670-2 調査番号 9302)

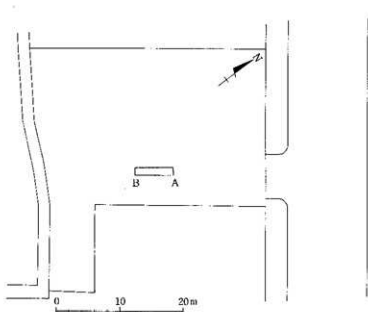
当遺跡は、半径が約200mと狭く、そのほとんどが泉穴師神社の敷地であるため、調査に至ることが少なかった。しかし、畑地が比較的多く残るため、昨年ごろから、共同住宅等への転用が目立つようになってきている。畑地は幹線道路に近いことから、今後もこの傾向は続くものと思われる。

本年度は、3件の調査を実施したが、いずれも共同住宅建設に先立つもので、遺跡の北側に位置している。

第1調査地点は、当遺跡の北端に位置し、北では泉大津中央線に接し、約120m南には泉穴師神社が存在する。

まず、敷地の東端に重機にて、幅1.2m、長さ6.0m、深さ0.4mの規模の調査坑を掘削し、その後、人力で壁面及び床面を掘削し、断面・床面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施した。

調査地の層序は、上層から、耕土(1層)約20cm、茶灰色砂質土(床土)(2層)約8cmが、水平に堆積する。2層の下層は、黄灰色粘質土(4層)が平均15cmの厚さでみられ、上面で部分的に灰色粘質土(3層)を含む。4層の下層は、灰色細砂(5層)が広がるが、この層は、調査地の北端では耕土の直下からみられる。また、南端では、床土の下で黄灰色砂混じり粘質土(6層)があるが、攪乱であろう。5層の灰色細砂からは、激しい湧水があるため掘削はこの層までとした。遺構・遺物は検出されず、平面及び断面の写真撮影と、断面図の作成を行い、調査を終了した。



第24図 穴跡遺跡 第1地点 掘削位置図

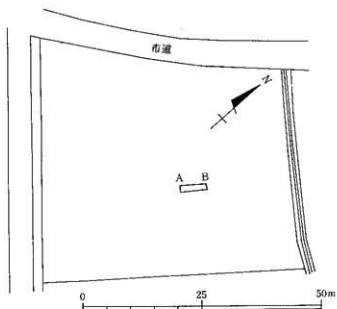


層位名

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 耕土 | 4. 黄灰色粘質土 |
| 2. 茶灰色砂質土(床土) | 5. 灰色細砂 |
| 3. 灰色粘質土 | 6. 黄灰色砂混り粘質土(攪乱) |

第25図 穴跡遺跡 第1地点 東壁断面図

第 2 地点 (豊中671-1 調査番号 9311)

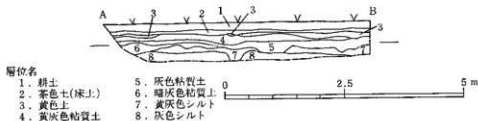


第26図 穴師遺跡 第2地点 掘削位置図

北側で第1調査地点と接し、泉穴師神社へは、南へ約70mの地点である。

まず、敷地の北隅に、幅1.1m、長さ5.6m、深さ0.7mの規模の調査坑を重機で掘削し、その後、人力で壁面及び断面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施した。

層序は、上層から、耕土(1層)15cm、茶色土(床土)(2層)10cm、と堆積し、その下層で調査坑の中央部分を除く西側と東側に黄色土(3層)が約10cmの幅で見られる。続いて、黄灰色粘質土(4層)平均15cm、灰色粘質土(5層)が堆積する。5層は、調査坑西側では暗灰



第27図 穴師遺跡 第2地点 北壁断面図

色粘質土(6層)との2層に分層できるが、中央部分より東側ではその判別は難しい。6層と5層の違いは、色合いだけで、ほぼ同質のものと思われる。その6層の下層は、黄灰色シルト(7層)がやや隆起して堆積し、灰色シルト(8層)に至る。調査坑の中央部では、一部、7層が8層の間に落ち込んでいる箇所が認められる。また、東へ行くに従って、8層は、降下し、7層が厚く堆積していくものと思われる。

遺構・遺物は検出されず、建物基礎部分も50cmと浅いため、調査坑全景と壁面の写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。

第 3 地 点 (池浦町5丁目440-1 調査番号 9314)

当遺跡の北西端に位置し、50m南では、泉大師神社に接する。第2地点とは、道路をはさみ約40mの距離にある。

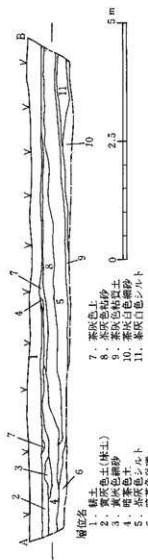
敷地の南隅に幅1.3m、長さ10.6m、深さ0.8mの規模の調査坑を設定した。まず、重機で掘削を行い、続いて人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施した。

調査坑の層序は、上層から、耕土(1層)約25cm、黄灰色土(床土)(2層)、と堆積するが、2層は調査坑の西端から中央部分までにしか認められない。中央部分から東端までは茶灰色土(7層)が2層に代わり堆積する。また、2層中にも、この7層は一部分認められる。茶灰色粘砂(8層)7~25cm、茶灰色シルト(5層)約30cm、茶灰色粘質土(9層)に至る。これらの下層に、調査坑中央部では、茶灰色粘砂(8層)約20cm、茶灰色シルト(5層)が30cm以上続き、茶灰色粘質土(10層)に至る。

調査坑の西部は、2層以下は、部分的に黄灰色細砂(3層)がみられ、暗茶色土(4層)約23cmと続き、暗茶色砂礫(6層)に至る。6層は、直径2.0cm程度の円礫を多数含み、中央へ向かって、5層の下へ潜り込んでいる。

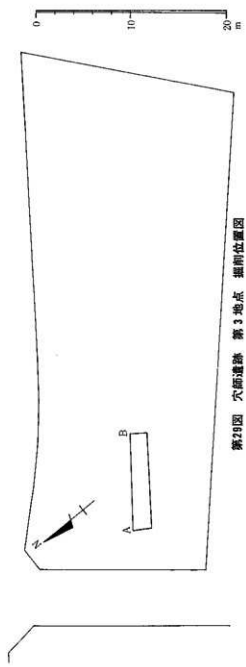
調査坑の東部分は、8層以下は、5層、9層がみられる。東端では、9層以下、茶灰白色シルト(11層)及び茶灰白色細砂(10層)がみられる。

6層は、須恵器・土師器を含むが、腐滅が激しく図示し得ない。遺構は認められない。写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



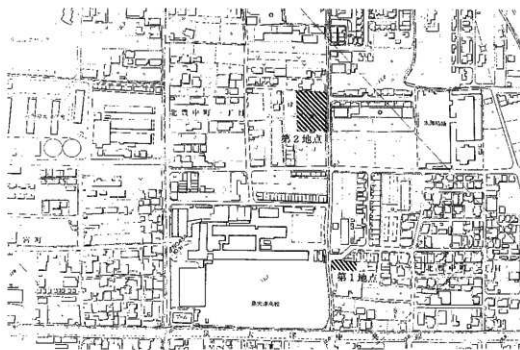
第28図 穴師遺跡 第3地点 北壁断面図

(12.0cm程度の間隔多数含む)



第29図 穴師遺跡 第3地点 掘削位置図

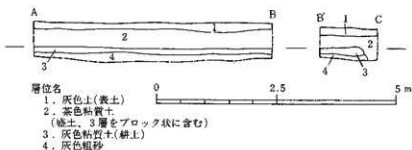
4. 七ノ坪遺跡



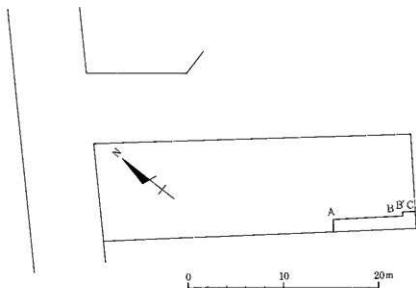
第30図 七ノ坪遺跡調査地点図 (1:5,000)

第 1 地点 (北豊中町2丁目476-3, 477-3 調査番号 9309)

当遺跡の今年度の届出件数は8件でその内の5件が個人住宅建設関連の工事である。個人住宅建設工事は、建物基礎部分が浅いため、調査に至ることはあまりない。本年度は、倉庫と共同住宅の建設が予定されたため、工事に先立ち2件の調査を実施した。



第31図 七ノ坪遺跡 第1地点 北壁断面図



第32図 七ノ坪遺跡 第1地点 掘削位置図

第1地点は、当遺跡の中心よりやや南側に位置し、北側では府立泉大津高校に接する。

まず、敷地の南隅に、幅1.3～1.8m、長さ8.6m、深さ0.7mの規模の調査坑を設定し、重機で掘削を行う。続いて、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心に調査を実施した。

層序は上層より灰色土(表土)(1層)15cm、茶色粘質土(盛土)(2層)45cm、灰色粘質土(耕土)(3層)10cm、とほぼ水平に堆積し、灰色粗砂(4層)に至る。なお、3層は、2層のブロックを多く含み、4層からは、湧水が激しくみられた。遺構は検出できず、遺物は4層から瓦片を検出したが、細片であるため図示できない。

建物基礎部分が灰色粗砂中におさまるため、写真撮影・断面図の作成を行って、調査を終了した。

第2地点 (北豊中町1丁目535-1, 536, 537, 538, 539, 534-1の一部 調査番号 9313)

共同住宅建設に先立つ調査である。当遺跡の北端で、府立泉大津高校からは、約150mのところの位置する。

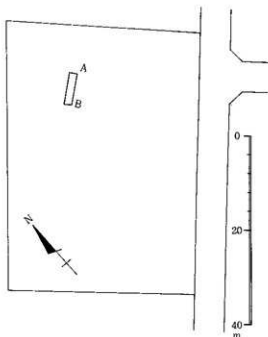
まず、敷地の中央よりやや北側に、幅1.2m、長さ6.6m、深さ1.1mの規模の調査坑を

設定し、重機で掘削を行う。続いて、人力で壁面及び床面を掘削し、断面・床面観察を中心とする調査を実施した。

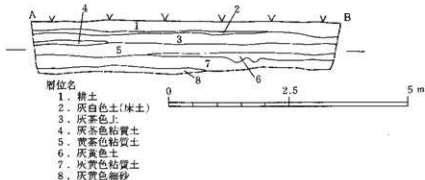
調査地の基本的な層序は、上層より、耕土(1層)20cm、灰茶色土(床土)(2層)5~15cm、灰茶色土(3層)20cm、黄茶色粘質土(5層)15cm、灰黄色粘質土(7層)平均25cm、灰黄色細砂(8層)に至る。3層の下層で、調査地の北側に灰茶色粘質土(4層)が約10cmの幅で、また、5層の下層で、調査地の中央部分から南側にかけて灰黄色土(6層)が5~16cmの幅で、それぞれ部分的に堆積するが、いずれもほぼ水平な堆積である。

3層の灰茶色土は、遺物包層であるが、土師器の細片がわずかに含まれるのみで、磨滅が激しく図示できない。遺構は確認できない。遺跡の中心部分からは、ややはずれていると思われる。

写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。

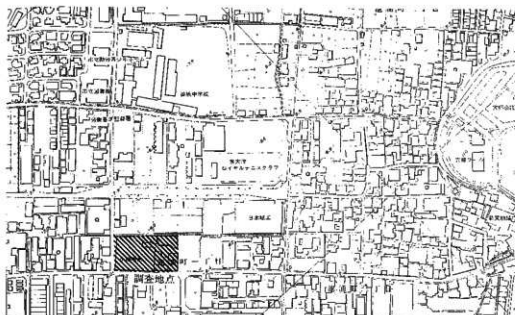


第33図 七ノ坪遺跡 第2地点 掘削位置図



第34図 七ノ坪遺跡 第2地点 東壁断面図

5. 虫取遺跡



第35図 虫取遺跡調査地点図 (1:5,000)

調査地点 (池浦町1-17-1 調査番号 9308)

本遺跡では、昨年までは南海中央線の拡張工事に伴う調査や、遺跡の中央部で畑地から共同住宅への転用に先立つ調査が主であった。しかし、本年度以降は、南海線泉大津駅東再開発に関連する共同住宅等の調査が増えるのではないと思われる。

今回の調査地点は、本遺跡の北端に位置し、50m北では現在、再開発工事中の泉大津駅から東へ延びる市道泉大津駅池浦線に接する。独身寮建設が予定されたため、工事に先立ち発掘調査を実施した。

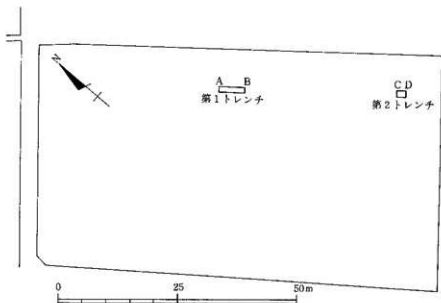
まず調査区中央より東側に幅1.1m、長さ5.3m、深さ1.1mの規模の調査坑を設定し第1トレンチとする。第1トレンチの約30m東に、幅1.1m、長さ1.9m、深さ1.2mの規模の調査坑を設定し、これを第2トレンチとする。両トレンチとも重機で掘削し、その後、人力により壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施した。

第1トレンチの層序は、まず地表面より約70cmまでは、木片、コンクリート片を大量に含む盛土(1層)がなされている。続いて、灰色土(旧耕土)(2層)約10cm、黄色シルト(床

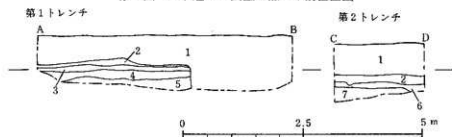
土)(3層)約10cm、暗茶色土(4層)約15cmで、直径1.0cm程度の円礫を多数含む暗茶色砂礫(5層)に至る。

第2トレンチの層序は、第1トレンチでみられる1層及び2層が堆積し、以下、茶色砂質シルト(6層)、茶色粘質土(7層)に至る。

両トレンチとも遺構・遺物は認められない。写真撮影及び断面図・平面図を作成し、調査を終了した。



第36図 虫取遺跡 調査地点 掘削位置図

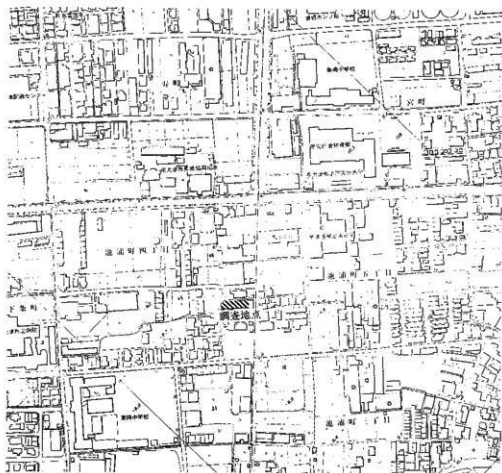


層位名

1. 盛土(木片、コンクリート片を多量に含む)
2. 灰色土(旧耕土)
3. 黄色シルト(床土)
4. 暗茶色土
5. 暗茶色砂礫
(1.0cm程度の円礫を多く含む)
6. 茶色砂質シルト
7. 茶色粘質土

第37図 虫取遺跡 調査地点 北壁断面図

6. 池浦遺跡



第38図 池浦遺跡調査地点図(1:5,000)

調査地点(池浦町4丁目214-1 調査番号 9312)

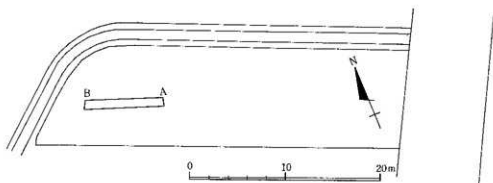
昨年は、都市計画道路の拡張工事に絡み、南海中央線沿いで6地点の調査を実施し、今後も調査件数は増加して行くものと予想された。しかし、本年度の当遺跡への届け出件数16件で、その内の11件が個人住宅建設関連の工事である。共同住宅等の届け出もあるものの、建物の基礎が30~50cm程度のもが多く、事前の発掘調査に至るものはほとんどない。

本調査地点も、昨年同様、東側で南海中央線に接し、遺跡の中央部よりやや東に位置する。工場の建設が予定されたため、工事に先立ち、調査を実施した。

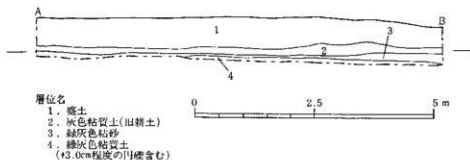
敷地の西隅に、幅1.0m、長さ8.5m、深さ0.8mの規模の調査坑を設定した。まず、重機で掘削を行い、続いて、人力で壁面及び床面を削り、断面・床面観察を中心とする調査を実施した。

調査坑の層序は上層から、盛土(1層)70cm、灰色粘質土(2層)(旧耕土)16~30cm、緑灰色粘砂(3層)15cm、で、緑灰色粘質土(4層)に至る。4層は直径3.0cm程度の円礫を含む。ほぼ水平の堆積がみられる。

遺構・遺物は認められず、建物基礎部分も、敷地全体にわたって施されている盛土内に取まるため、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。

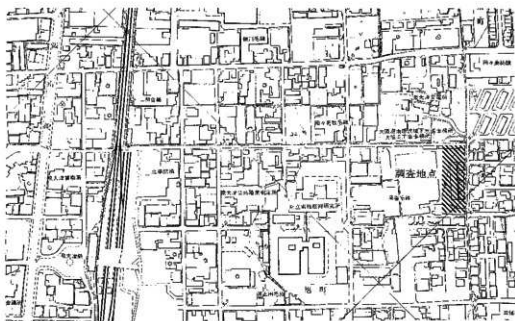


第39図 池浦遺跡 調査地点 掘削位置図



第40図 池浦遺跡 調査地点 南壁断面図

7. 東雲遺跡



第41図 東雲遺跡調査地点図 (1 : 5,000)

調査地点 (旭町1-1, 2-1, 3-1, 4-1 調査番号 9304)

当遺跡は市街地化が進み、文化財の届け出件数も少ないため、ここ数年は、一年間に1件前後しか調査に至らない。本年度は12件の届け出があったが、本調査地点を除き、すべて個人住宅関連の工事である。

本調査地点は遺跡の中央よりやや南側に位置し、市道泉大津駅池浦線から約110m北にある。共同住宅の建設が予定されたため工事に先立ち調査を実施した。

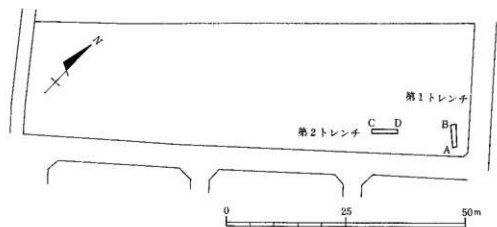
敷地の北東隅に幅1.0m、長さ4.8m、深さ1.2mの規模の調査坑を設定し、第1トレンチとする。第1トレンチの約10m南に幅0.9m、長さ5.4m、深さ1.2mの規模の調査坑を設定し、これを第2トレンチとする。両トレンチとも、まず重機で掘削し、続いて人力にて掘削を行った。

第1トレンチの基本層序は、上層よりコークス(盛土)(1層)50cm、茶灰色粘質土(2層)15cm、黄灰色粘質土(3層)、茶灰色シルト(6層)、灰色砂(5層)に至るが、部分的に茶灰色砂混じり粘質土(4層)や、灰茶色シルト(7層)をブロック状に含み、砂層と粘土層が交

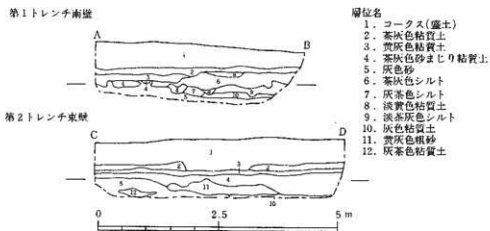
互に堆積する複雑な様相を呈している。

第2トレンチは1～3層までは第1トレンチと同様に堆積し、3層の下層は、第1トレンチでは部分的にしかみられなかった4層が厚いところでは、約45cmの幅でみられる。4層以下、黄灰色粗砂(11層)、灰色砂(5層)、灰色粘質土(10層)に至る。第2トレンチも第1トレンチと同じく、砂層と粘土層の堆積が交互にみられる。

両トレンチとも、遺構・遺物は確認できず、写真撮影及び断面図を作成して、調査を終了した。



第42図 東雲遺跡 調査地点 掘削位置図



第43図 東雲遺跡 調査地点 断面図

8. 大園遺跡



第44図 大園遺跡調査地点図 (1:5,000)

調査地点 (綾井37-1 調査番号 9307)

本遺跡の今年度の届け出件数は3件で、その内、共同住宅の建設が予定された地点において、事前に調査を実施した。

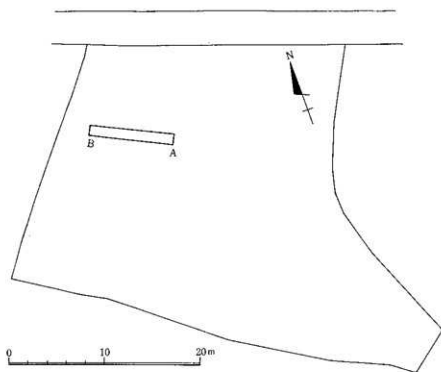
遺跡のはほぼ中央部に位置し、北側で府道松原泉大津線の側道部分と接する。周辺部はほとんど和泉市地番であるが、当調査地点は本市の飛び地となっている。

敷地の北隅に、幅1.0m、長さ9.3m、深さ0.8mの規模の調査坑を設定し、重機により掘削を行い、その後、人力により壁面を削った。

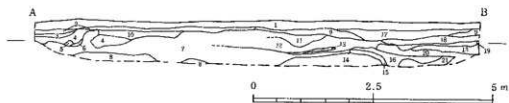
調査坑の層序は灰色土(表土)(1層)以下複雑で、調査坑の東隅は、褐色粗砂(4層)、褐色シルト(7層)等、褐色を基調とし、粗砂、粘質土、シルト層が堆積する。西隅は、茶色細砂(17層)、灰褐色粗砂(18層)、茶色細砂(19層)、褐色細砂(13層)等、砂層が多く堆積し、調査坑の中央部分は、褐色シルトが厚くみられる。

この調査地点付近では、遺構は、床土直下に存在する 경우가多く、茶灰色土(2層)や、灰白色土(3層)の堆積がほとんどみられないことから、遺構面が削平されている可能性が

ある。遺物も認められない。写真撮影及び断面図の作成を行い、調査を終了した。



第45図 大園遺跡 調査地点 掘削位置図



層位名

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|---------------------|
| 1. 灰色土(表土) | 8. 灰褐色粗砂 | 15. 明褐色シルト |
| 2. 茶灰色土(旧耕土) | 9. 褐色砂礫
(13.0cm程度の円礫含む) | 16. 灰白色粗砂 |
| 3. 灰白色土 | 10. 茶褐色砂礫
(") | 17. 茶色細砂 |
| 4. 褐色粗砂 | 11. 7層より砂質 | 18. 灰褐色粗砂 |
| 5. 褐色粘質土 | 12. 7層より粘質 | 19. 茶色細砂 |
| 6. 4層に炭化物混る | 13. 褐色細砂 | 20. 褐色粗砂に灰色、黄色砂が混じる |
| 7. 褐色シルト
(灰色砂がレンズ状に混じる) | 14. 暗褐色シルト | 21. 褐色粘質土 |

第46図 大園遺跡 調査地点 南壁断面図

圖

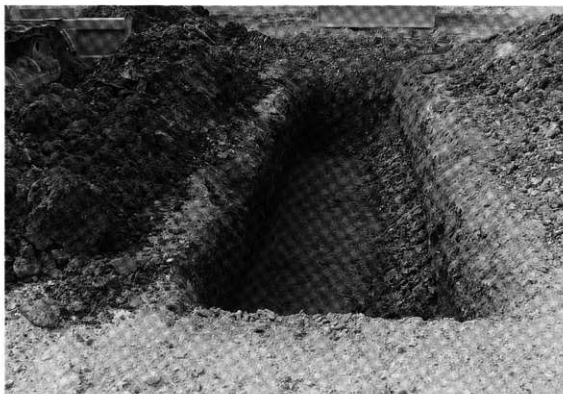
版



池上・曾根遺跡第1地点調査坑



池上・曾根遺跡第2地点調査坑



豊中遺跡第1地点調査坑



豊中遺跡第2地点調査坑



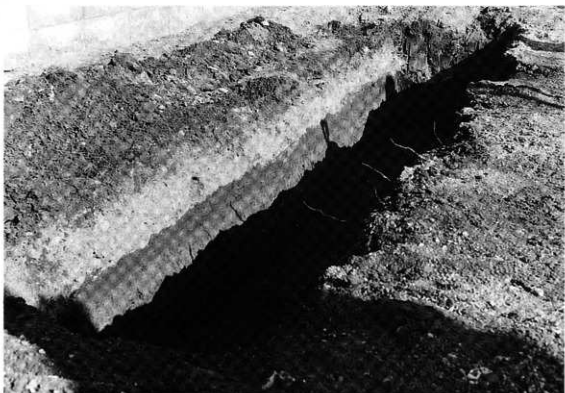
豊中遺跡第3地点調査坑



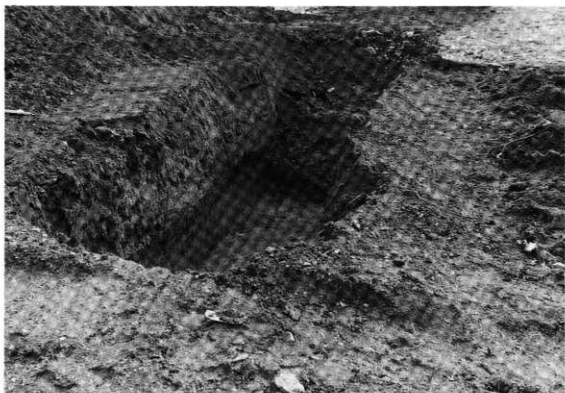
豊中遺跡第4地点第1トレンチ



豊中遺跡第4地点第2トレンチ



豊中遺跡第5地点調査坑



豊中遺跡第6地点調査坑



穴師遺跡調査地点調査坑



穴師遺跡第2地点調査坑



穴師遺跡第3地点調査坑



七ノ坪遺跡第1地点調査坑



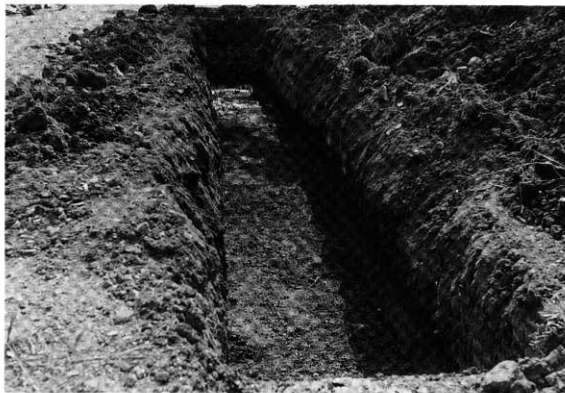
七ノ坪遺跡第2地点調査坑



虫取遺跡調査地点第1トレンチ



虫取遺跡調査地点第2トレンチ



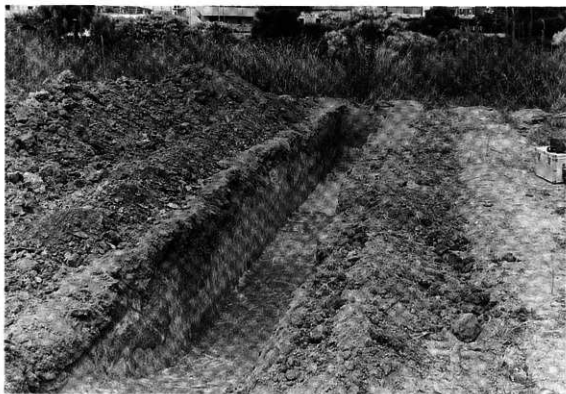
池浦遺跡調査地点調査坑



東雲遺跡調査地点第1トレンチ



東雲遺跡調査地点第2トレンチ



大園遺跡調査地点調査堀

報告書抄録 その1

ふりがな	いずみおつしまいぞうふんかいびつちうさかいほう							
書名	泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報							
副書名								
巻次	12							
シリーズ名	泉大津市文化財調査報告							
シリーズ番号	24							
編者名	鹿間 麻実							
編集機関	泉大津市教育委員会							
所在地	〒595 大阪府泉大津市東雲町9番12号			TEL 0725-23-1131				
発行年月日	西暦 1994年3月25日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
池上曾根	大阪府泉大津市 曾根町1丁目 98-1	272060		52度 25分 20秒	166度 02分 20秒	19931216	7.6	温泉付き店舗建設に伴う 事前調査
	曾根町1丁目 142-4			52度 32分 50秒	166度 10分 45秒			
虫取	大阪府泉大津市 池浦町1丁目 17-1	272060		53度 46分 10秒	166度 50分 40秒	19930826	7.9	柱身竪埋設に伴う事前 調査
池浦	大阪府泉大津市 池浦町4丁目 214-1	272060		53度 19分 50秒	166度 36分 10秒	19931019	8.5	工場建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
池上曾根	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	土師器・須恵器	破片	層序は最上、茶色砂礫、 灰色粘質土となる。茶色砂 礫層の中間に灰茶色及び茶 灰色の砂礫が見られ、遺物 を包含する。		
			遺構は検出されなかった	土師器	小皿	耕土の下に灰茶色土が見 られ、その下は全体に砂質 土が堆積していた。 灰茶色土は遺物包含層。		
虫取	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった		表土より約70cm下までコ ンクリート・木材片混じり の盛土。以下は耕土、床上、 暗茶色土、暗茶色砂礫が 堆積。		
池浦	集落	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった		層序は盛土、灰色粘質土、 緑灰色粘砂、緑灰色粘土で ある。		

報告書抄録 その2

ユリガタ 所収遺跡	ユリガタ 所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	道庁番号					
七ノ坪	大坂府東大津市 花屋等町2丁目 476-3, -4	272060		52度 40分 50秒	166度 54分 20秒	19930916	15.5	倉庫建設に伴う事前調査
	52度 34分 55秒			166度 41分 50秒	19931026	7.9	共同住宅建設に伴う事前調査	
豊中	大坂府東大津市 豊中U58-7 の一部	272060		52度 49分 20秒	166度 56分 30秒	19930304	6.11	共同住宅建設に伴う事前調査
	東豊中町2丁目 962-14			52度 28分 10秒	167度 19分 30秒	19930705		共同住宅建設に伴う事前調査
	豊中964-18			52度 30分 10秒	167度 26分 20秒	19930730		共同住宅建設に伴う事前調査
	豊中町2丁目 954-1			52度 40分 30秒	167度 04分 20秒	19931217		貸店舗建設に伴う事前調査
	北豊中町2丁目 460-1 463-1			52度 42分 30秒	166度 59分 00秒	19940118		4.3
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
七ノ坪	集落 その他 の墓	弥生 古墳	遺構は検出されなかった	瓦	破片	層序は表土、耕土、灰色粗砂となり、灰色粗砂から瓦片出土。湧水が強い。		
			遺構は検出されなかった	土師器	磨耗破片	層序は耕土、灰白色土、灰茶色土、黄茶色粘質土、灰黄色土とづく。		
豊中	集落 社寺跡	縄文 古墳 平安 中世	遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった		層序は礫土、旧耕土、灰色粗砂、黄白色土、黄色粘質土となる。		
			遺構は検出されなかった	土師器	破片	層序は灰黄色土、砂質土、細砂、粘質土、灰黄色粘質土から湧水があった。		
			遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった		土地区画整理時盛土が約1m、以下旧耕土、茶褐色砂質土、茶褐色シルト堆積。		
			遺構は検出されなかった	土師器・須恵器	破片	層序は耕土、床土、茶灰色若しくは灰色粗砂若しくは砂礫層となる。		
			遺構は検出されなかった	土師器・須恵器・瓦器	各破片	盛土、旧耕土の下に砂質土が見られ、その下は粘砂土が堆積していた。		

報告書抄録 その3

よりがな 所収遺跡	よりがな 所在地	コード		北緯 °'..	東経 °'..	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因	
		市町村	遺跡番号						
大 園	大阪府泉大津市 鏡井37-1	272060		51度 32分 15秒	165度 04分 00秒	19930805	9.3	共同住宅建設に伴う事前調査	
東 雲	大阪府泉大津市 旭町1-1, 2-1 3-1, 4-1	272060		53度 48分 20秒	166度 27分 20秒	19930507	4.2	共同住宅建設に伴う事前調査	
穴 師	大阪府泉大津市 数平670-1 -2	272060		52度 54分 30秒	166度 50分 45秒	19930302	7.2	共同住宅建設に伴う事前調査	
	52度 56分 50秒			166度 52分 15秒	19930929	7.7			共同住宅建設に伴う事前調査
	53度 04分 15秒			166度 49分 10秒	19931102	13.8			共同住宅建設に伴う事前調査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主 な 遺 構	主 な 遺 物	特 記 事 項				
大 園	包含地 葉 落	旧石器 古 墳 中 世	遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった	付近の調査結果では、床土の下に遺構面が存在するが、当地では遺構面は見られなかった。削平された可能性あり。				
東 雲	葉 落	古 墳 中 世	遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった	砂層と粘質土が交互に堆積し、場所によってはシルト層が見られた。				
穴 師	葉 落	古 墳	遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった	層序は粘土、床土、黄灰色粘質土、灰色細砂が堆積。灰色細砂から湧水。				
			遺構は検出されなかった	遺物は認められなかった	層序は粘土、床土、黄色土、黄灰色粘質土、灰色粘質土、黄灰色シルトとなる。				
			遺構は検出されなかった	土師器・須恵器 磨耗破片	層序は粘土、床土、茶灰色及び黄灰色シルト、粘砂土、砂となっていた。				

泉大津市文化財調査報告24

泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報12

1994年3月

発行	泉大津市教育委員会
編集	社会教育課 泉大津市東雲町9番12号
印刷	和泉出版印刷株式会社 和泉市池上町460-33

